

令和6年度 第1回総合教育会議資料

放課後子ども教室について

社会教育課

三芳町における放課後の主な「子どもの居場所」

学童保育室 全ての小学校内に設置

- 自宅の代わりとして、子どもたちが放課後を過ごすもうひとつの家庭
- 保護者の就労などで放課後に家庭がいつも留守の児童が対象
- 放課後、帰宅せずに向かう
- 月額7,000円
- 放課後児童支援員等の専門的な職員が常駐

児童館 町内3か所に設置

- 子どもたちが楽しみながらいろいろな体験をし、知識を身に付け、明るくたくましく育つことを目的とする施設
- 0歳～18歳が対象
- 放課後、一度帰宅してから向かう
- 基本的には無料
- 児童厚生員等の専門的な職員が常駐



放課後子ども教室

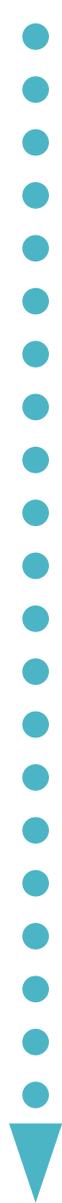
全ての小学校区で実施

- ① 生活の場ではなく、学習・体験の場
- ② 保護者の就労有無にかかわらず参加できる
- ③ 学校施設等の活用(安心・安全)
- ④ 放課後、帰宅せずに向かう
- ⑤ 関わる大人は地域の方を始めとしたさまざまな方々

地域力を
活かした
教育事業

日本型子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)の推進にあたり、
構成する取組のひとつとしても新たに実施するもの

検討の経過



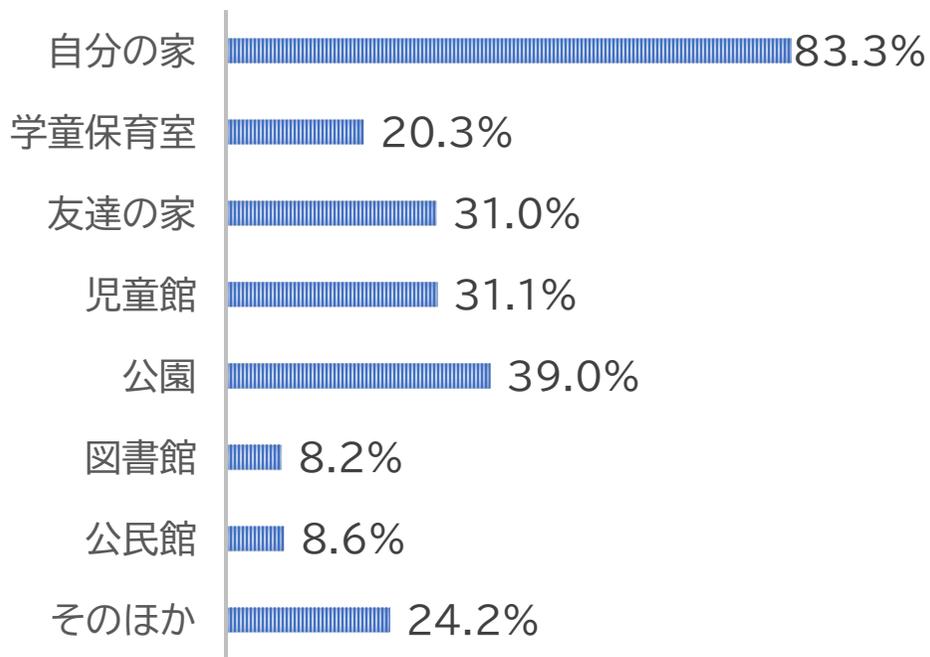
6月	<ul style="list-style-type: none">・ 町内関係課打合せ
7月	<ul style="list-style-type: none">・ 校長会にて説明・ 富士見市立ふじみ野小学校、ふじみ野市立亀久保小学校視察・ 藤久保第2学童保育室視察・ コミュニティ・スクール推進協議会にて学校運営協議会関係者へ説明・ 保護者向け及び児童向けアンケート実施・ 教育委員会へ報告・ 各校へアンケート結果のフィードバック
8月	<ul style="list-style-type: none">・ 学校個別訪問
9月	
10月	<ul style="list-style-type: none">・ 三芳町区長会にて説明・ 教育委員会へ進捗報告
11月	<ul style="list-style-type: none">・ 校長会にて進捗説明・ 第1回放課後コーディネーター候補打合せ会
12月	<ul style="list-style-type: none">・ 教育委員会へ進捗報告・ 淑徳大学へ協力依頼・ 学校個別訪問

アンケート結果から

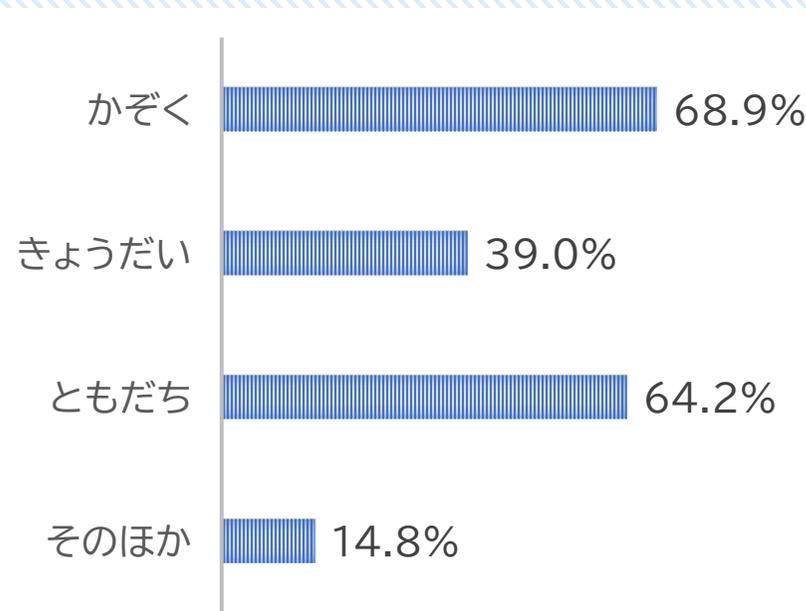
回答数:1,358人(町内小学1~5年生、回答率92.3%)

※ 重複回答と思われるものも含む

放課後の時間をどこで過ごしていますか (複数回答可)



放課後の時間をだれと過ごしていますか (複数回答可)



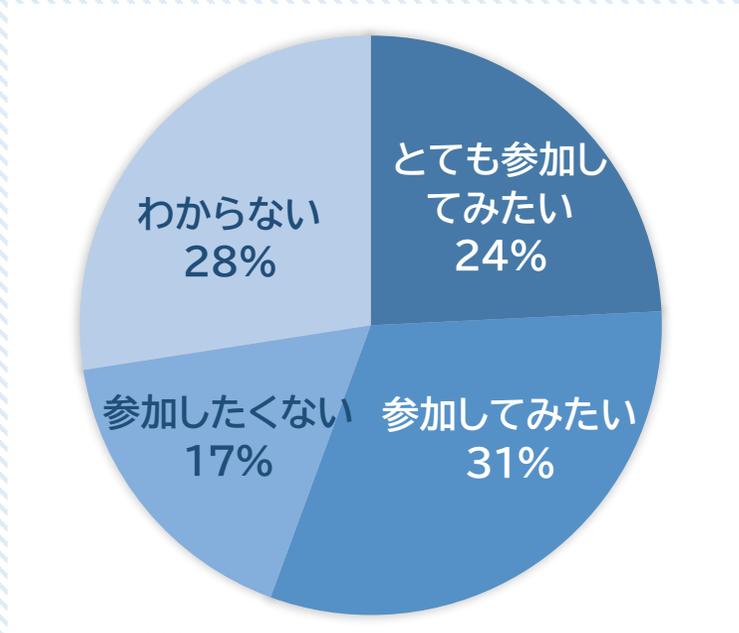
- 8割を超える児童が「自分の家」と回答、次いで「公園」「児童館」「友達の家」。
- 公共施設等(児童館、図書館、公民館、公園)は学校ごとに大きく差が生じている。
- 「学童保育室」は竹間沢小、「友達の家」は三芳小が他の学校に比べて顕著に高い。

- 三芳小、藤久保小、上富小は「かぞく」が最も高い。一方で、唐沢小、竹間沢小は「ともだち」が最も高くなっている。
- 特に上富小は「ともだち」の割合が他校に比して顕著に低くなっている。

アンケート結果から <子どもたちの声>



放課後子ども教室に参加してみたいですか



- 回答率が9割を超える中、約6割が「とても参加してみたい」「参加してみたい」と回答。

持続可能な居場所となるように、参加定員を設けます。ただし、例えば学童保育室や公民館と連携したイベントを計画するなど、より多くの子どもたちが豊かな放課後の時間を過ごせるよう検討します。

放課後子ども教室でどんなことをやりたいですか
(自由記述)

みんなでできる遊びや勉強がしたい！

主な意見

- いろんな子と仲良くしてみんなと遊びたいです
- いろんな友達といっしょに宿題をしたり、遊んだりしたい
- みんなが楽しめる遊びをしたい
- みんなで、仲良くおはなしをしたいです
- みんなでワイワイ勉強
- 友達をつくりたい

地域の大人と交流したい！

主な意見

- お勉強が苦手なので、地域の人と一緒におべんきょうをしたいです。
 - ちいきの人とお話したい
- ※ 明確に地域の人とやりたいという意見ではなかったものの、昔からある遊び(こま、おてだま、折り紙等)をやりたいという声も多い

体を動かしたい！

主な意見

- サッカー
- ドッジボール
- たくさん遊びたい
- バレーボール
- 鬼ごっこ
- 野球
- かくれんぼ

勉強をしたい！

主な意見

- 工作や宿題を持っていったら教えてくれる静かなところ
- しゅくだいをみてほしい
- べんきょうしたい
- 本を読みたい

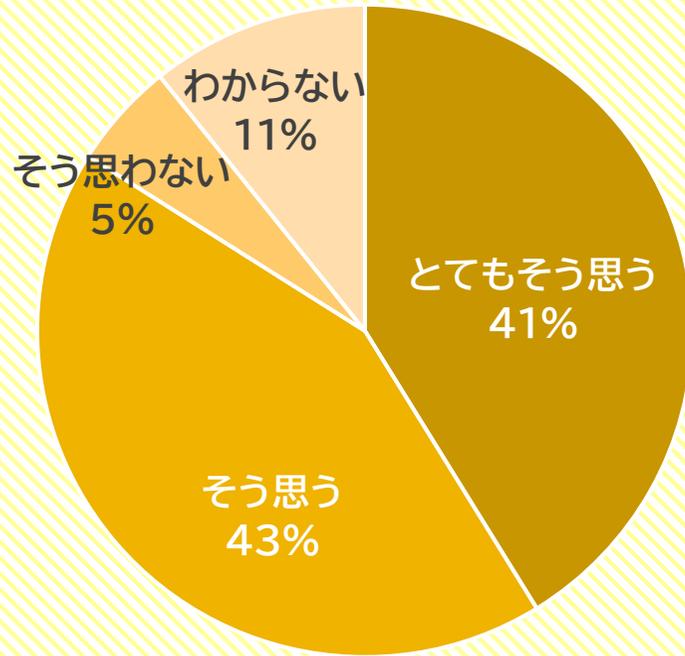
ほかにもたくさんの意見をいただきました。放課後コーディネーターに共有し、それぞれの教室でのプログラムへの反映を検討していきます。

アンケート結果から <保護者の声>



町内小学1～5年生の保護者
回答数：381件（回答率：31.6%）
※1家庭1回答

放課後子ども教室ができれば、子どもを参加させたいと思いますか



- ・ 約84%の家庭が「とてもそう思う」「そう思う」と回答。
- ・ 子どもの年齢による差異はほとんど見られない。

放課後子ども教室にどんなことを期待しますか
(自由記述)

内容面に関すること

主な意見

- 家庭ではなかなかできない体験活動
- 昔遊びや様々なスポーツを体験できたら良い経験になりそうだと思います
- 子どもがお友達や、地域の方と楽しめること
- いろんな学年のお友達との交流
- 運動する機会が少ないので、体を動かすきっかけになったらありがたいです
- 宿題や、普段学校ではやらないような遊び、いろんなことを学べる場になるといいと思います
- わからない勉強を教えてほしい
- 子供だけ、児童館だけでは体験できないことを体験できたら良いと思います
- 季節のイベント

運営面に関すること

主な意見

- 学校内ということで、親・子どもともに安心して遊べる・学べる場になると思います
- 子どもが安心して楽しく過ごせる場
- 放課後の安全な居場所となることを期待します
- ただの預かり場所ではなく、子どもたちの安全(いじめ等の対応を含めて)だけはしっかり確保していただきたい
- 学校とは違う、子どもたちのコミュニティができることを期待します
- 学童の子どもも参加させてほしい。子ども同士の関わりを増やしたい
- 週1ではなく、もう少し頻度があるなら検討したい
- 地域の活性化に繋がってほしい

保護者の方からのニーズや関心が大変高いことを確認できました。また、内容面や運営面に関して、大変多くのご意見をいただきました。すべてにお応えすることは難しい面もありますが、長期的な視点に立ち、いただいたご意見を参考にしながら事業の推進を図ってまいります。

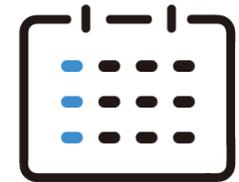
三芳町の放課後子ども教室〔概要〕

目 的

地域の連携・協力のもと、安全・安心な放課後の子どもたちの居場所、体験活動の場を確保し、子どもたちが心豊かに、健やかに過ごせる環境づくりを推進する。

実施日等

- 年20回程度(概ね月2回)
- 教室ごとに決まった曜日で実施(学校と調整)
- 学校の休業日、学校給食の無い日は実施しない
- 5月開始～3月末まで実施(令和7年度は6月開始)



- 放課後～16時30分頃まで
 - ※ 具体の開始時刻及び終了時刻は各学校と調整の上で決定
 - ※ 教室終了後のスタッフの完全撤収が教職員の終業時刻を超えないようにする



実施場所

- すべての小学校区において、基本的には学校で実施
- 藤久保小学校は、新校舎完成後の実施場所は改めて調整する

主な実施場所

三芳小	学校内(家庭科室、体育館、ほか)
藤久保小	藤久保公民館ホール、校庭代替地
上富小	学校内(図工室、体育館、ほか)
唐沢小	学校内(生活科室、体育館、ほか)
竹間沢小	学校内(地域交流室、体育館、ほか)

参加登録

対象者

- 教室を実施する小学校に通学する児童
- ※ 学童保育室との重複登録は不可
- ※ 1, 2年生は保護者のお迎えが必要



参加者募集

- 4月中に募集を開始
- 教室ごとに定員あり。定員を上回った場合には抽選を行う場合がある

各教室の定員

三芳小	30人
藤久保小	40人
上富小	30人
唐沢小	30人
竹間沢小	30人

参加費

- 無料
- ※ 保険加入料500円が必要、プログラムによっては実費を要する可能性あり

教室の体制

1教室あたりの体制

スタッフは事務局負担の傷害保険に加入する
このほか、プログラムに応じた外部講師も参画する

放課後コーディネーター

- 1教室に1名
- 教室運営上の責任者であり、総合的な調整役
- 教室に毎回参加

放課後活動リーダー

- 1教室に1名
- 放課後コーディネーターのサポート役
- 放課後コーディネーターが不在の場合は代わって責任者として運営
- 教室に毎回参加

放課後活動サポーター

- 1回あたり3名以内(ただし、登録者の上限は設けない)
- 放課後コーディネーターと放課後活動リーダーをサポートし、子どもたちの活動を支援する

ボランティア

- 人数を問わない(無償)
- 教室が実施するプログラムの支援や、子どもたちの安全面のサポートなど

事業全体の運営体制

三芳町放課後子ども教室運営委員会

町の放課後子ども教室の運営方法等、事業全般を協議する

- ※ 委員構成は、各放課後コーディネーター、校長会、学校運営協議会、保護者、こども支援課、学校教育課等を想定(10名以内)

事務局

三芳町教育委員会社会教育課

- ※ 事業を主催するほか、運営委員会や会計等の事務処理全般、放課後コーディネーター研修の開催などを担う

教室の1日の流れ

活動前

- 放課後コーディネーターは学校(公民館)と打合せ
- スタッフは名札を着用、ミーティング、準備

活動中

- 児童は下校せずに教室に向かう
- 出欠及び健康状態の確認
- 宿題等の学習時間の後に自由時間やプログラム実施

活動後

- 1, 2年生のお迎え対応
- 利用した部屋の片付け、確認、ミーティング
- 放課後コーディネーターは学校(公民館)と打合せ
- 社会教育課への報告

※運営にあたり緊急時対応マニュアル(救急、災害、不審者等)を整備するほか、社会教育課も随時に巡回等を行う

教室の1年間の流れ

[4月]
参加者募集～決定

[5月～]
活動開始

[3月]
年度内活動終了

[5月]
第1回運営委員会

[12月]
第2回運営委員会



※令和7年度は5月参加者決定、6月活動開始

その他

学校との連携



- 固定で使用する物品等は拠点となる教室等で保管する。
- けがが起きた場合は、教室で用意した救急セットを使用してスタッフが対応するが、状況によって養護教諭に協力いただく場合がある。
- AEDは学校(公民館)のものを使用。
- スタッフには要綱に基づき守秘義務を課す。

地域との連携



- 体験活動や学習の充実を図るため、教室について周知し、プログラム協力の呼びかけを行う。
- 放課後活動サポーターやボランティアについては随時受け付け、各教室の放課後コーディネーターに相談の上で参画方法等を含めて決定していく。
- 教室での取組内容や地域の協力者の検討などを各学校運営協議会にて行っており、引き続きコミュニティ・スクールの取組として協力・支援について協議を行う。
- 淑徳大学にも参加協力を依頼。

関係施設等との連携



- 学童保育室に通室する児童は対象外とするが、学童保育室と連携したイベント等を開催する。
- 教室によっては公民館等との連携も検討する。

保護者との連携



- 家庭でも参加を促せるように、学期ごとに日程と内容をお知らせする。
- 教室専用スマートフォンを各教室に常備し、事業実施中の緊急等の連絡体制を整える。

必要な経費

スタッフ謝金等

放課後コーディネーター
放課後活動リーダー
放課後活動サポーター
放課後コーディネーター研修旅費

約136万円

運営用消耗品費

医薬品
文房具 など

約60万円

保険料

約10万円

通信料

約20万円

開設備品費

連絡用スマートフォン
鍵付き書庫
スポーツ備品 など

約58万円

講師謝金

プログラム講師
放課後コーディネーター研修講師

約7万円

プログラム消耗品費

スポーツ用品
教材費 など

約23万円

運営委員会謝金

約6万円

初年度必要経費 約320万円

国・県の補助金を申請します

国

1/3

県

1/3

町

1/3

※ 国や県の予算の状況により補助申請額の査定が行われる可能性があります

今後の事業目標

2025年度(令和7年度) ~ 2027年度(令和9年度)

全小学校区での実施

5教室

事業規模の維持



教室の実施回数

合計90回以上

事業の定着



参画する地域住民等(大人)の人数

合計50人以上

体験活動の充実



放課後子供教室を継続的・安定的に実施し、事業定着を図るとともに
体験活動の機会充実を目標とする